

海上自衛隊の新たな役割 —海自の新たな「戦略指針」について—

海上自衛隊幹部学校長

目標

活動 環境の形成

我が国の領域及び周辺海域の防衛

常に安全保障環境を改善し続けることにより、威信が現れるのをめざします。
例えば・・・

国際緊急援助活動 防衛交流 能力構築支援

海上交通の安全確保

海上自衛隊は平島から若宮島（P-1及びP-3C）により、航行する船舶などの状況を監視するほか、不測事態に対応するため、艦艇・航空機を柔軟に運用して日本周辺海域における監視監査活動を行っています。

そのため

平素からの対応

積極的な活動を通じ、事態の発生とその悪化を防ぎます。
例えば・・・

警戒監視 海賊対処行動 共同訓練

有事への対応

我が国の平和と安全が脅かされる場合には、威信を取り除きます。

望ましい安全保障環境の創出

我が国は自由で開かれた海洋のために、インド太平洋諸国とともに地域の特性や相手国の事情を考慮しつつ、多角的・多層的な安全保障協力を戦略的に推進しています。

そのため

能力

情報収集・情報的発信

- IW (Information Warfare): 情報能力の難化により、敵の作戦能力を低下・無効化することにも、味方の作戦効率を向上
- 透明な発信により内外の理解促進、望ましい活動環境を実現・維持

（参考：齋藤聰「令和における海上自衛隊ーその努力の方向性ー」『海幹校戦略研究』2020年7月）

努力の方向性
4つの分野の充実

「人」の充実
海上自衛隊の根幹である「人」
募集・採用の強化
効率的・効率的な教育
充実感あふれる勤務環境

「機能」の充実
任務を守るために「遂行」
先進技術・装備品
迅速・確実な意思決定
造修補給・施設等

「構想」の充実
考え方 = 「構想」
戦略・戦術等
装備開発
知識・経験の共有

「協働」の充実
共同・統合・統合 = 「自衛」
米海軍との共同
他国との防衛協力・交流
他自衛隊・他省庁・民間との協力

海上自衛隊ホームページ
海上自衛隊 YouTube

海上自衛隊 Facebook
海上自衛隊 Instagram
海上自衛隊 Twitter

防衛省 海上自衛隊

自由で開かれた海洋に向けて
～海上自衛隊戦略指針～

精 強・即 応
変 化へ の 適 合

海上自衛隊戦略指針

～自由で開かれた海洋に向けて～

精 強・即 応
変 化へ の 適 合

目 次

我が国を取り巻く国際環境がこれまで以上に速いスピードで厳しさと不確実性を増している中、海上自衛隊は「海上自衛隊戦略指針」を定めました。これは、日本国民の生命・身体・財産、そして領土・領海・領空を守り抜くために、我が取り組むべき努力の方向性を明確にしたものです。

- ・ 目 標 – E n d s
- ・ 方 策 – W a y s
- ・ 手 段 – M e a n s
- ・ 課 題 – C a l l e n g e s
- ・ 努力の方向性
- ・ 海上自衛隊の新たな役割

目 標 – Ends



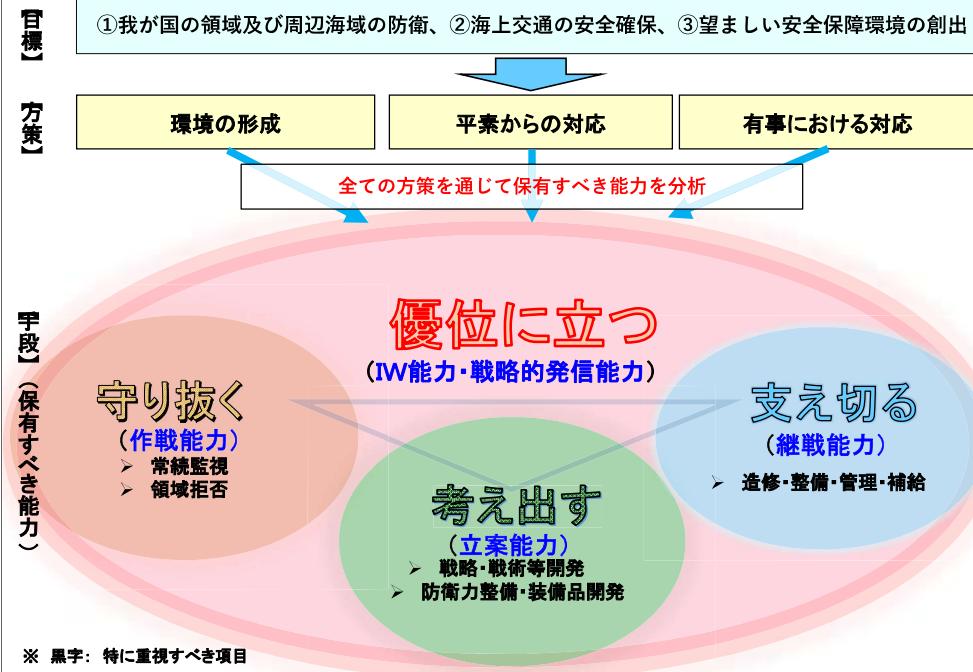
方 策 – Ways

- I 我が国の領域及び周辺海域の防衛
- II 海上交通の安全確保
- III 望ましい安全保障環境の創出

戦略目標を達成するためには実施すべき活動（方策）

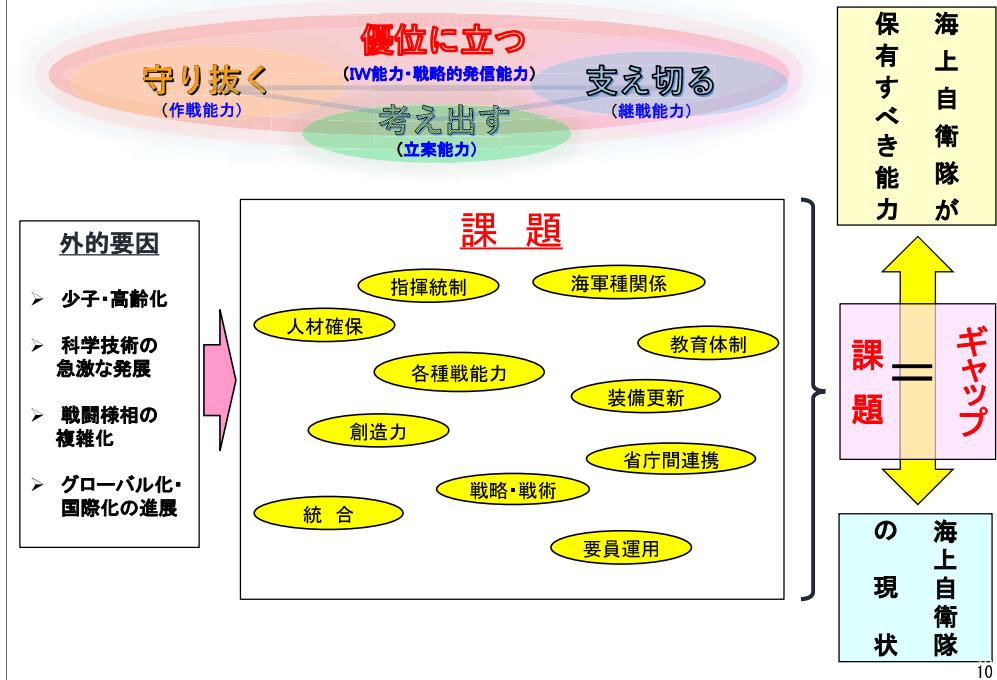
環境の形成	平素からの対応	有事における対応
<p>常に安全保障環境を改善し続けることにより、脅威が現れるのを防ぐ。</p>  <p>国際緊急援助活動 防衛交流 能力構築支援</p>	<p>積極的な活動を通じ、事態の発生とその悪化を防ぐ。</p>  <p>警戒監視 海賊対処行動 共同訓練</p>	<p>我が国の平和と安全が脅かされる場合には、脅威を取り除く。</p> 

手段 - Means



9

課題 - Challenges



10

努力の方向性

能力保有のため、4つの分野の充実に努力を集中させ、任務を完遂

「人」の充実 (Personnel)

海上防衛力の根幹たる「人」を質・量ともに充実させる。

- 募集・援護の強化
- O B を含む民間力の活用の拡大
- 組織の抜本的な再構築、意識改革
- W L B、家族支援の充実

「構想」の充実 (Concept)

海上自衛隊の能力を最大発揮し「守り抜く」ために必要な「構想」を充実させる。

- 戰略・戦術等の分析・開発体制再構築
- 作戦能力及び装備開発能力の向上
- 奕積した知識・経験の適切な管理共有

「機能」の充実 (Function)

所要の能力を持続的に強化し、「形成」と「対処」双方の「機能」を充実させる。

- 先進技術・装備品への投資・取得
- 迅速かつ確実な意思決定を可能とする能力強化
- 造修、整備、管理、補給等の機能強化
- 省人化・無人化の推進

「協働」の充実 (Cooperation)

米海軍との共同を基軸に、統合・総合力を発揮することによって我が国を守り抜くため、「協働」を充実させる。

- 米海軍との共同、多国間連携を深化
- 他自衛隊、他省庁、民間等との協力関係の促進

海上自衛隊の新たな役割

- ・ 新たな領域での作戦・統合作戦
宇宙、サイバー、電磁波
いずも型改修
中東における情報収集活動
- ・ 安全保障協力
“自由で開かれたインド太平洋”
海賊対処、国際緊急援助活動
インド太平洋派遣訓練
- ・ 戰略的発信
内外の理解促進
望ましい環境の実現、維持

11

12

「自由で開かれたインド太平洋」 ビジョンにおける防衛省の取組

Achieving the “Free and Open Indo-Pacific (FOIP)” Vision
Japan Ministry of Defense’s Approach



制 作：防衛省防政局国政課 参事官
刊 行：2020年7月